

## 南富良野大乘会の沿革

- 昭和52年 9月 南富良野町基本構想が策定され、福祉村構想に知的障害者更生施設誘致が基本構想に取り入れられる。
- 昭和54年11月 社会福祉法人設立準備会が発足し、知的障害者更生施設の設置運営方針等基本構想について協議、設立代表者の選出、定款等決定する。
- 昭和55年 2月 知的障害者更生施設南富良野からまつ園設立協議書提出。
- 昭和55年 7月 からまつ園建設敷地町より無償譲渡が決定される。
- 昭和55年 8月 からまつ園新築工事に着手する。
- 昭和55年10月 法人認可に基づき法人設立登記を完了する。
- 昭和55年11月 初代理事長に、太宰 白一郎が就任する。
- 昭和56年 2月 からまつ園新築工事完了する。
- 昭和56年 3月 北海道知事より知的障害者更生施設の適合認定書の交付を受ける。
- 昭和56年 4月 からまつ園定員50名をもって、事業を開始する。  
初代園長に、東谷 稔が就任する。
- 昭和59年 8月 からまつ園増設工事に着手する。
- 昭和60年 4月 からまつ園定員50名を80名に変更する。
- 昭和61年11月 第二代理事長に、森井 義雄が就任する。
- 昭和62年 5月 からまつ園定員80名を87名に変更する。
- 昭和63年 7月 こざくら園新築工事に着手する。
- 昭和63年10月 こざくら園建設敷地町より無償譲渡が決定される。
- 平成 元年 2月 こざくら園新築工事完了する。
- 平成 元年 3月 北海道知事より知的障害者授産施設の適合認定書の交付を受ける。
- 平成 元年 4月 こざくら園定員50名をもって、事業を開始する。  
初代園長に、楯 玄量が就任する。
- 平成 元年 9月 からまつ園食堂増設を行なう。作業棟を建設する。
- 平成 元年10月 からまつ園二代園長に、楯 玄量が就任する。  
こざくら園二代園長に、下家 重信が就任する。
- 平成 2年10月 からまつ園スプリンクラー設置工事完了する。
- 平成 3年 6月 こざくら園三代園長に、定塚 正が就任する。
- 平成 3年11月 法人・からまつ園10周年・こざくら園2周年記念式典挙げる。
- 平成 4年11月 第三代理事長に、竹沢 喜一郎が就任する。
- 平成 5年 5月 平成5年用お年玉寄付金を受け、こざくら園マイクロバスを購入する。
- 平成 6年 4月 大乘会職員共同住宅を購入し、所有権登記をする。  
からまつ園重度棟建設協議書提出（二ヵ年事業）。
- 平成 6年11月 清水基金の助成を受け、生活訓練・作業休憩所の建設が完了する。
- 平成 7年11月 こざくら園トヨタフォークリフト(株)よりリフト1台贈呈を受ける。
- 平成 8年12月 からまつ園重度棟建設工事完了する。

- 平成 9年 4月 からまつ園定員87名を117名（ショートステイ2名）に変更する。
- 平成 9年 6月 北海道知事より第二種社会福祉事業・短期入所事業のからまつ園・こざくら園の事業開始について認可を受ける。
- 平成10年11月 （財団）中央競馬馬主社会福祉財団の助成を受けて法人施設職員単身者住宅1棟10戸を建設完了する。
- 平成11年 2月 からまつ園三代園長に、定塚 正が就任する。
- 平成12年 4月 からまつ園四代園長に、福土 憲昭が就任する。
- 平成12年 7月 父母の会が、コーヒーショップ「りとり」を建設。
- 平成13年10月 グループホーム事業開始。グループホーム「ぴあ」開設。
- 平成14年 4月 社会福祉法人南富良野大乗会、創設20周年記念式典挙行。
- 平成14年 4月 「こざくら園」第4代園長に須藤進が就任。
- 平成15年10月 自立訓練ホーム「ふらっぷ」完成。
- 平成16年 1月 グループホーム「ういんぐ」入居者4名で事業を開始。
- 平成16年 4月 「からまつ園」「こざくら園」が知的障がい者短期入所事業の定員空床型の施設認定を受ける。
- 平成16年 4月 「からまつ園」「こざくら園」が通所事業の定員5名の施設認定を受け、事業を開始。
- 平成16年 6月 2003年度日本財団助成金を受け、「からまつ園」に福祉車両（日産キャラバン）を購入。
- 平成17年 4月 「こざくら園」第5代園長に大野制が就任。
- 平成17年10月 グループホーム「あゆみ」入居者4名で事業を開始。
- 平成18年 3月 グループホーム「はるか」入居者5名で事業を開始。
- 平成18年 4月 「からまつ園」第6代園長に東雅春が就任。